

腸炎ビブリオ検出用 DDチェッカー TCBS寒天培地

*【全般的な注意】

- 1.本品は、微生物の取り扱いに習熟した人の指導のもとにバイオハザード対策を実施した上で使用して下さい。
- 2.使用説明書以外の使用目的、使用方法については保証を致しません。
- 3.培地が目や口に入った場合には、水で十分に洗い流し、必要があれば医師の手当て等を受けて下さい。

【形状・構造等(キットの構成)】

TCBS寒天培地

腸炎ビブリオを特異的に検出するTCBS寒天培地です。
(他の培地と区別するため、シャーレに“TCBS”と印字してあります。)

【使用目的】

環境及び食品由来の腸炎ビブリオの検出

【特徴】

腸炎ビブリオは沿岸海水に生息する無芽胞のグラム陰性単桿菌であり、わが国における食中毒の中でも発生頻度の高い主要な原因菌です。

本品は、環境及び食品由来の腸炎ビブリオを、簡便かつ特異的に検出するために開発されたものです。

- 1.スタンプ方式のため、操作が簡便です。
- 2.腸炎ビブリオを選択的に検出できます。

【操作上の注意】

- 1.菌種により発育速度が異なりますので、培養中は毎日観察して下さい。
- 2.菌によっては発育の遅い場合がありますので、疑わしい検体は記載されている培養時間よりも長く培養して下さい。

【用法・用量(操作方法)】

- 1.必要な器具・器材・試薬等
DDチェッカーTCBS寒天培地
恒温器又は恒温室：37℃に設定可能なものを使用して下さい。
スタンプできない検体(液体の検査材料及び表面が平滑でない検査材料等)の場合は次のものも用意して下さい。
・検体が液体の場合：滅菌綿棒(又はマイクロピペット及びマイクロピペット用滅菌チップ20~50μL)
・検体表面が平滑でない場合：滅菌綿棒、滅菌生理食塩液
- 2.操作法
(1)シャーレに必要な枚数だけ袋から取り出し、上下に折り曲げて個々に切り離します。
(2)シャーレのフタを取り、直ちに培地表面を検査材料の表面に密着させて軽く押しします。
*検査材料が液体の場合は、20~50μL程度を滅菌綿棒等で培地全面に均一になるように塗抹します。

*検査材料の表面が平滑でない場合は、滅菌生理食塩液を含ませた滅菌綿棒で検査材料の表面を拭き取った後、培地全面に塗抹して下さい。

*培地で検査箇所を擦ると寒天表面に傷がついたり剥離したりする可能性がありますので、試験時には検査箇所を擦らずに軽く押すようにして試験を行って下さい。

*生育コロニー数が多すぎる場合には検査材料を拭き取ったのちに滅菌生理食塩液などで希釈し、20~50μLを塗抹すると良好な結果が得られることがあります。

- (3)シャーレのフタをして、フタ表面に検査材料名等の必要事項を記入します。
- (4)37℃の恒温器又は恒温室に、シャーレのフタを下にして入れ、18~24時間培養します。
- (5)培養後、発育した集落を観察します。

【結果の判定法】

1.判定

腸炎ビブリオは緑色混濁集落を形成します。それ以外の集落は腸炎ビブリオではありません。

2.判定上の注意

Vibrio alginolyticus は腸炎ビブリオの類縁菌として、海水、魚等自然界では高率に分離され、腸炎ビブリオの存在する指標になると言われています。

Vibrio alginolyticus は黄色の集落を形成します。なお、腸炎ビブリオは緑色の集落を形成しますが、*Vibrio alginolyticus* が多数発育すると腸炎ビブリオの集落も黄色となる場合があります。

【使用上または取扱い上の注意】

1.取扱い上の注意

本品はスタンプ法を用いていますが、一般的にスタンプ法の成績は混釈法や拭き取り法の成績と一致しない場合があることが知られています。本品は汚染の程度を知るためのものであり、培地上の集落数は拭き取り法の結果とは必ずしも一致しません。また、本品での成績はいわゆる公定法の成績としては使用できません。

2.使用上の注意

- (1)本品は凍結厳禁のため、指定の貯蔵方法で保存して下さい。
- (2)開封後は速やかに使用し、保存する場合は袋に収め、密閉状態にして指定の貯蔵方法で保存して下さい。
- (3)本品を直接接触させた後の検査材料の表面は、水で十分に洗浄して下さい。また、本品を皮膚に直接接触させて検査した場合は水で十分に洗浄を行い、異常が認められた場合は必要に応じて医師の処置を受けて下さい。
- (4)本品を直接接触させて検査した食品検体では、検査後の食用を避けて下さい。

- (5) 本品を接触させた後の検査材料の表面は、培地成分が付着していますので、アルコール綿等で拭き取って下さい。
- (6) 衣服等の繊維系検査材料の表面は培地成分のしみがつく恐れがありますので、注意してご使用下さい。
- (7) 本品に雑菌汚染、変色、形状変化等の品質低下が見られる場合には使用しないで下さい。
- (8) シャーレの切り離し部分によっては、ケガをする恐れがありますので注意して下さい。
- (9) 発育した菌による二次的汚染を起こさないために、判定後は速やかに本品を廃棄して下さい（3.廃棄上の注意 参照）。誤って培養後の菌を付着させた箇所又は付着させた可能性のある箇所は、70%アルコール、逆性石鹼又は適当な消毒剤で直ちに十分な消毒を行って下さい。
- (10) 本品は、記載された操作法に従って使用して下さい。

3.廃棄上の注意

使用済みの本品、使用済みの容器及び検査に使用したすべての器具類は次のいずれかの方法で処理後、廃棄物に関する規定に従って廃棄して下さい。

- (1) 121℃で20分間以上高圧蒸気滅菌をする。
- (2) 0.1w/v%次亜塩素酸ナトリウム溶液（有効塩素1000ppm）に1時間以上浸漬する。

【貯蔵方法・有効期間】

- (1) 貯蔵方法 2～10℃（遮光・冷蔵）
- (2) 有効期間 4ヶ月
（外箱に表示されている使用期限内にご使用下さい。）

【包装】

コードNo.	品名	包装
04260	DD チェッカー TCBS 寒天培地	20 枚入
04261	DD チェッカー TCBS 寒天培地	100 枚入

*【問い合わせ先】

極東製薬工業株式会社 営業学術部
〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町7-8
電話 03(5645)5664
FAX 03(5645)5703

製造販売元



極東製薬工業株式会社

茨城県高萩市上手綱朝山3333-26

本社住所

東京都中央区日本橋小舟町7-8